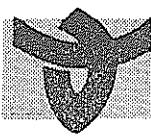


THE KōHō NANKOKU



広報 南国
THE KōHō NANKOKU

第51号

昭和39年1月20日

編集発行

南国市広報委員会

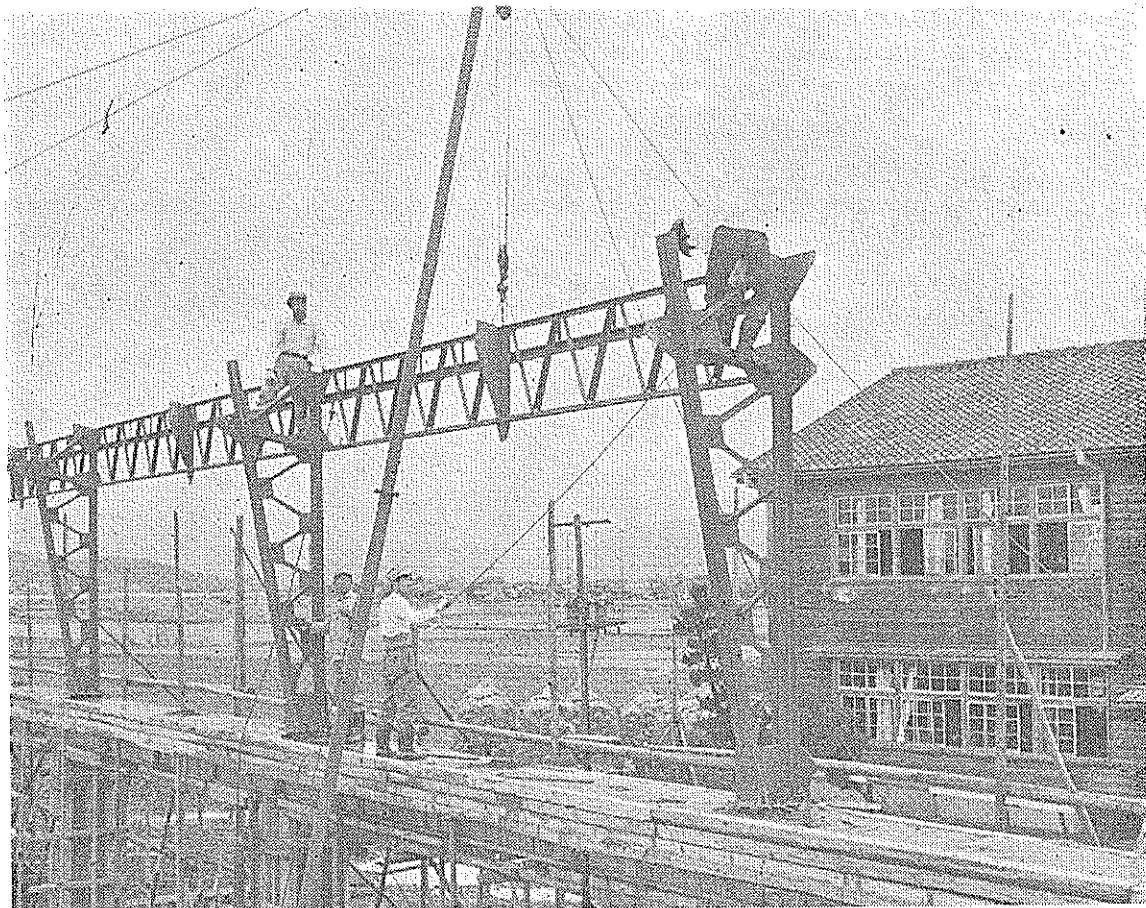
事務所

高知県南国市役所内

(電 2111)

印刷 川北印刷 KK

(電 2379)



赤字だといわれている市ではあるが、建設の槌音はあそこでこだましている。隣保館、大衆浴場、市営住宅などが昨年手がけられ、ここ香南中学にも、屋内体育館の骨格が浮び上がってきた。



市の予算も六億を越した。赤字解消が急そがれているが、建設の槌音はいまだたえない。それとしても、市の台所はいま一番のピンチに立っている。伸びに伸びた予算は、37年度の最終予算額にくらべ、はやくも一億円近く上廻り、赤字解消に赤ランプがともされている。▼最終の追加予算に対し、市民や、各課の要望いろいろ出されてくることだろう。しかし、その財源はなく、追加することはむづかしいといわれているよりも苦しいのは来年度の予算であろう。市民税の本文方式による課税での市税の減収、煙草消費税の減額など、市の財政には手痛い処置がなされたことである。▼国は、大都市周辺の豊かな市町村を基準に、いろいろの行政をしくむ結果から、乏しい市町村は、いやが上にも乏しい財政となってくる。市民税のただし書による課税も乏しい故に行なつてきたものだが、国は国民所得が伸びているから、本文方式によつても減収にならないと、いう見解をとつてゐるといわれている。貧乏県のしかも乏しい財政のもとにある市町村のあり方は、赤字への道がいつまでもつきない、それを突き破ることは、市民と市政担当者の信念と責任にあろう。

ソ連人の考え方

みんなの広場

(茶)(間)(ク)(イ)(ズ)

第三次世界大戦の少し前、ソ連のウラル地方の工場のあるドイツ人が見学したことがあった。それ

らの工場の所々に基礎ボルトのままで機械が据つてない箇所があつた。計画性の強いドイツ人は心

中ソ連人の無計画さを笑つたものである。

ところが第二次大戦が初まるやソ連は南北ロシアの工場から機械を続々ウラル地方に送った。基礎ボ

ールにピッタリあつてその日から生産ができたのは勿論のことである。

ここで生産された戦車群でソ連の計画であったのだ。

△賞金 五千円

正解一名の場合全額、二十名以上の場合、抽せんで二十名に均等します。正解のない場合は正解に近いものに。

□：ヨコのかぎ

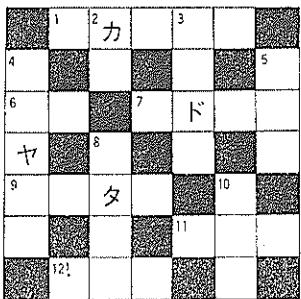
- ①農村の青年は、現在これがむづかしくってネ、シダや、キノコにできるこのようなさいばう
- ②ビタミンAの不足によっておこる目の病気
- ③冬にはとくに氣をつけなくてはいけない場合は正解に近いものに。
- ④舟入川も年一回はネ
- ⑤野菜にはやはりそれに適した作業……がなくては
- ⑥この骨のどこかにでてくる、植物の名号
- ⑦冬の食べ物に最適だね
- ⑧花にもつかわれる美しい菜葉
- ⑨労働にはやはりそれに適した作業……がなくては
- ⑩野菜や、福もこれが肥えるとよくなる

応募規定

△南国市の住民、または職場を有する者

△解答は、ハガキ（四型の厚紙）に片仮名で、一人同通でも可

△締切三月十日
△送付先 南国市役所広報係
△住所氏名を明記すること



虎杖君

正月というのにはやくも山に春の訪れが?

それは、八

京にある野村守男さんの虎

がまのほとりに、あわただ

しく然生えなかつた

のに、いままで

正月に竹の子の生えることはた

びたびあるが、

イタドリは始め

て「と首をかし

げている。

当の野村さん

も、「昨年は正

月の陽気な暖きも原因の一

つといえる。

本年もよろしく…

食品まつり

抽せん券付など

2月25日—3月10日

景品（電気製
品）
特等二十分
円（相当
の製品）
一等二四万

原稿募集
あけましておめで
とうございます。

△食品衛生に対する県民の認識を深め、衛生思想の普及向上をはかる目的で、二月二十五日から三月十日まで、県食品衛生協会主催のもとに、県下にわたって食品まつりが行なわれる。

△抽せん券付記念出し、
加盟店一百
円につき一

△短歌、俳句、詩、コント、あなたの得意など、お寄せ下さい
△食品衛生優良従業員の表彰
△ミス食品コンテスト
△投稿は六百字以内

委員長 山本尚一
田中隆夫 東村達夫
沢本英世